

12/7 土
講演 13:30-16:00

会場 対面先着50名/オンライン
立命館大学大阪いばらきキャンパスB棟
(立命館いばらきフューチャープラザ)
3階B374

「地域の木と建築」

山がある

木がある

使われていない現実

私たちはこう使う



講師：栗山 裕子／一級建築士

WIN1級建築設計事務所 主宰

認定NPO法人 古材文化の会 顧問

「地産地消」を基本とした住宅設計に長年取り組んでいる。
地域の伝統的な建物を残して行く為の調査・活動にも携わる。



講師：田村 宏明／一級建築士

企業組合 もえぎ設計 所長

NPO 法人 京都・森と住まい百年の会 代表理事

森と暮らしを結びつける活動を続けている。使う側の都合
だけではなく、森の側に立って考えられる設計者でありたい。

一部

講演

「地域」と「木」にこだわり、京都で活動されている建築家お二人にご登壇いただきます。日本の林業で育てられた木が建築に使われるまでを、森のことを考えながら建築設計に携わっておられるお二人に語っていただきます。

二部

パネルディスカッション



中田 明氏
中田林業代表



森本 達郎氏
森庄銘木産業(株)
取締役専務



田中 力先生
育てる里山PJ代表
立命館大学経営学部教授

パネリストとして林業家二名と育てる里山プロジェクト代表・田中先生に加わっていただきます。林業の現場、建築の現場、それぞれの立場から地域の木を使った建築についてご意見を伺います。

お問合せ・申込

立命館大学OIC地域連携課 (平日9:30~17:30)

☎ 072-665-2550

✉ satoyama@st.ritsume.ac.jp

お申込みはこちら▶▶▶

12月3日(火)17時まで

